



# 私らしい2枚目の名刺を もって来よう！



ゲスト

## 廣 優樹さん（NPO 法人二枚目の名刺 代表）

組織や立場を超えて、社会を創る活動に取り組む「2枚目の名刺」を持つことが、人の変化と社会の変化を同時に生み出すことを提唱。2009年に二枚目の名刺を立ち上げ、社会人がチームを組み3か月間NPOの事業推進に取り組むNPOサポートプロジェクトや、子どもたちが町の課題を見つけ、大人たちに提言、実現に向けて動くSocial KidsAction Projectを展開。もう1枚の名刺では、商社で事業開発に取り組む。4児の父。



まちづくりカフェたかつ vol.8

■日 時：2021.1.24(日)10:00～12:00

■場 所：Zoomによるオンライン

■参加者：23名

まちづくりカフェたかつ vol.8 概要

■日時：2021.1.24(日)10:00～12:00

■場所：Zoomによるオンライン



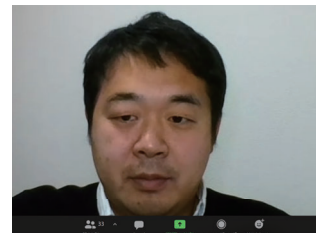
私らしい2枚目の  
名刺をもってみよう！



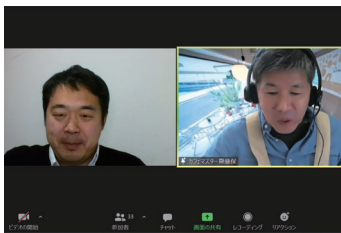
廣 優樹さん  
(NPO 法人二枚目の名刺 代表)

## ◆ゲストトーク

華々しい経歴の裏で試行錯誤してきたという廣さん。イギリス留学時、「Who you are? (きみは何者だね?)」と問いかけられ、肩書以外に答えられなかったことが原点となり、「人の変化を後押しし、社会の変化を生み出したい」という自分の価値観に辿り着きました。廣さんは、自ら電話をかけて町内会に参加をする、4人の子どものために11年間も保育園に通い続けるなど、仕事よりも身近な経験に自分らしさを感じるそうです。キャリアは経験の掛け算。身近な経験の掛け合わせでも誰もが希少価値の高い人間になれるのです。二枚目の名刺と聞くと「副業＝お金儲け」のイメージがありますが、二枚目の名刺でやりたいことに挑戦し、本業へも還元していくことで社会にも組織にも変化が生まれると廣さんは言います。「自分で人生のオーナーシップがとれているか。」組織や立場を超えて面白いことを手掛ける人が増えていく時代に、あなたは傍観者ですか？当事者になりますか？お金のためでも趣味のためでもない、「私らしい2枚目の名刺」の持ち方を教えてくださいました。

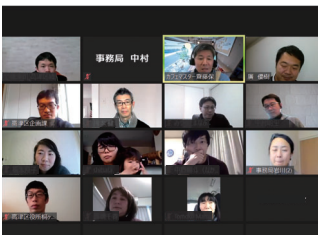


## ◆クロストーク (聞き手：(株)イータウン斉藤)

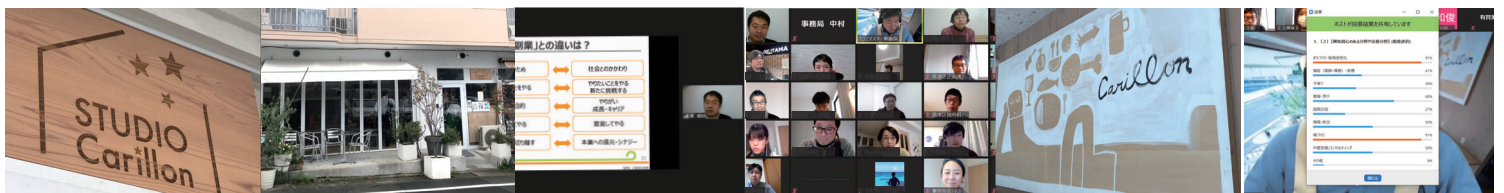


本業が忙しくて時間がないという方、いつまでたっても人生は忙しいです。今自分がやっていることが、結果的にインプットになっていることもあります。優先順位をつけること、きっかけを逃さないことが大事です。ただし、一枚目も二枚目も責任を持つこと。やると言ったことはやる、自分ができる以上のことを引き受けない。参加者のトークの中にもヒントがあり、悩んでいることまでがノウハウとなる質問タイムでした。

## ●交流会 (任意参加)



廣さんは「犬も歩けば棒に当たる」には災難に会うことと、幸運に会うことの2つの意味があると言います。自分の住んでいる地域にこだわらず、面白そうだなと思ったことに参加し、できるところから広げていけば良いのです。動いている人にだけ新しい機会があたるという2つ目の意味を信じてチャレンジしていきましょう。



↑ vol.5で会場として使用したスタジオカリオンの紹介も